



漕代小学校だより



松阪市立漕代小学校 令和6年10月30日(水) NO.17

ホームページ:<http://www.koishirosho.com>

E-mail: koishiro2es@matsusaka.ed.jp 校長 橋本恵美子

令和6年度全国学力学習状況調査について

4月に小学校6年生、中学校3年生を対象に実施した学力学習状況調査の調査結果がまとまりました。今回の調査により測定できるのは学力の特定の一部分であり、学校における教育活動の一側面ですが、この調査結果を有効に活用して、児童一人ひとりの力をつけることに、引き続き取り組んで参ります。

漕代小学校の成果



○ 国語・算数とも全国・県・松阪市の平均を上回った。

・全国平均を **国語 15.3ポイント 算数 22.6ポイント** 上回ることができました。

平均正答率	本校	松阪市	三重県	全国
国語	83.0	69.8	67.1	67.7
算数	86.0	66.0	62.3	63.4

○ 国語について

・学習指導要領の内容ごとに見てみると、「知識及び技能」が基礎学力、「思考力、判断力、表現力等」が発展的学力と考えた場合、発展的な学力も定着しています。本校の児童は、**人の話を聞きながら自分の考えと比べ、そして、自分の考えを言葉で説明する力がついていることがわかります。**「知識及び技能」の、(2)情報の扱い方に関する事項において、三重県や全国平均を下回る結果となりました。今後、探究学習を通して得た資料を、自分の考えを説明するためにどのように活用していけば効果的かということに気づかせることを指導のポイントとしていきます。

国語		平均正答率(%)		
学習指導要領の内容		本校	三重県	全国
知識及び技能	(1) 言葉の特徴や使い方に関する事項	78.6	64.2	64.4
	(2) 情報の扱い方に関する事項	85.7	86.5	86.9
	(3) 我が国の言語文化に関する事項	85.7	73.6	74.6
思考力、判断力、表現力等	A 話すこと・聞くこと	90.5	58.7	59.8
	B 書くこと	85.7	68.2	68.4
	C 読むこと	76.2	70.2	70.7

○ 算数について

・どの項目も、全国正答率よりかなり上回っています。変化と関係は、ほかに比べるとやや正答率は低けれども、全国の正答率よりもかなり高いことがわかります。松阪市においては、図形及び、変化と関係が、継続的な課題にあげられました。



苦手だった、
図形の問題が
解けました。

算数		平均正答率(%)		
学習指導要領の内容		本校	三重県	全国
数と計算		90.5	64.5	66.0
図形		85.7	65.8	66.3
変化と関係		76.2	49.7	51.7
データの活用		82.1	61.0	61.8

児童質問紙より

児童質問紙は、児童生徒の生活や学習の様子をアンケート形式で問う調査のことです。生活の諸側面や豊かな心の育成に関わること、学習環境や教育活動などへの問いがあります。

○ 規範意識が高い一方、自己肯定感、夢に向かう力、行動力は控えめ。

「自分には、よいところがある」と思える子どもの割合が低く、自己肯定感を高めることが課題です。また、将来の夢や目標をまだ持っていない児童もいます。地域探究学習に主体的に活動する中で、「失敗を恐れなくて挑戦すること」「自分でやると決めたことは、やり遂げること」に取り組み、「自分を振り返り、未来の自分の生き方に向かう力」の育成を図っていきます。

質問事項		当てはまる	どちらかといえば、 当てはまる	どちらかといえば、 当てはまらない	当てはまらない
自分には、よいところ があると思いますか	本校	12.5	75.0	12.5	0.0
	三重県	40.6	41.8	11.2	6.4
	全国	43.4	40.7	10.5	5.4
将来の夢や目標を 持っていますか	本校	62.5	0.0	25.0	12.5
	三重県	59.7	21.9	10.1	8.2
	全国	60.6	21.8	9.8	7.7
いじめはどんな理由が あってもいけないこと だと思いますか	本校	75.0	25.0	0.0	0.0
	三重県	82.1	15.0	2.1	0.8
	全国	79.5	17.2	2.5	0.8
人が困っているときは 進んで助けていますか	本校	37.5	62.5	0.0	0.0
	三重県	47.1	46.0	6.1	0.9
	全国	46.0	46.7	6.2	1.1

○ 教員に向けて 私たち教員にとって、うれしく、励みになる結果でした。

		当てはまる	どちらかといえば、 当てはまる	どちらかといえば、 当てはまらない	当てはまらない
先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれている	本校	75.0	25.0	0.0	0.0
	三重県	49.6	39.8	7.9	2.6
	全国	47.3	40.6	9.2	2.8

今後も保護者の皆様とともに育ててまいります。

○ 引き続き、「早寝、早起き」等の基本的な生活習慣の確立にご協力ください。



「朝食を食べている」「毎日同じくらいの時刻に起きている」「毎日同じくらいの時刻に寝ている」の項目は全国平均を上回っています。基本的な生活習慣の確立は、児童の「がんばる力」の土台となります。

○ 子どもたちをたくさん褒めて、認めてやってください。

自己肯定感は学力テストの正答率に影響しています。自己肯定感を高めることが、学力向上に向かう手立ての一つです。「自分には良いところがある」と思える児童がもっとも増えるといいなと思います。



○ 平日や休日の家庭学習の時間を増やしていきましょう。



家庭学習の習慣をつけ、学習量を確保することが大切です。ある程度の勉強量が確保されると学力はのびていきます。学校でも、家庭学習の仕方など、子どもたちに伝えていきますので、ご家庭でも「10分×学年+10分」は机に向かって勉強する環境を引き続き整えてください。そして、はげまして勉強を見とどけてやってください。

○ 家でも本を読む環境づくりをお願いします。